

	発行日	令和4年 7月 4日 (月)
	発行者	いわき立泉中学校第3学年 進路指導担当

福島高専公開講座 AIの実装と物体検知の実験

福島高専から、公開講座の案内が届きました。福島高専を進学先を考えている生徒以外でも内容に関心がある生徒は是非参加してみてください。

事業名	AIの実装と物体検知の実験 パソコンでプログラミングしてAIをつくってみる内容です(進路担当補足)
日時	令和4年7月24日(土) 10:00~12:00 (受付 9:45)
場所	福島高専 電気電子システム工学棟3階第1実験室
対象	中学生8名
参加料	無料
申込期間	令和4年6月20日(月)~7月8日(金) 現在募集期間中です


申し込みは各自個人で行うようになります。参加希望者は進路担当が詳しい案内文書を配付いたします。

磐城第一高校オープンスクール 7/30 (土) 9:00~11:30

いわき市で唯一の女子高等学校の磐城第一高等学校からオープンスクールの案内が届きました。

第1希望が磐城一高の生徒はもちろん、県立高校の併願受験を考えている女子生徒には、どんな学校なのか自分の目で確かめる意味でも訪問をお勧めします。



8:30~ 9:00~ 9:30 9:45~10:15 10:30~11:30	受付 学校紹介 入試説明 体験談話 部活動体験、模擬授業(国、数、英)、自由見学 ※次の①~⑫から1つ選ぶようになります。	多数になった場合午前、午後の部に分かれて開催予定																					
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>①バレーボール</td> <td>②バスケットボール</td> <td>③卓球</td> <td>④ソフトテニス</td> </tr> <tr> <td>⑤新体操</td> <td>⑥文芸</td> <td>⑦英会話</td> <td>⑧美術</td> </tr> <tr> <td>⑨合唱</td> <td>⑩吹奏楽</td> <td>⑪生物</td> <td>⑫被服</td> </tr> <tr> <td>⑬食物</td> <td>⑭茶道</td> <td>⑮フラダンス</td> <td>⑯模擬授業(国 数 英)</td> </tr> <tr> <td>⑰自由見学</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				①バレーボール	②バスケットボール	③卓球	④ソフトテニス	⑤新体操	⑥文芸	⑦英会話	⑧美術	⑨合唱	⑩吹奏楽	⑪生物	⑫被服	⑬食物	⑭茶道	⑮フラダンス	⑯模擬授業(国 数 英)	⑰自由見学			
①バレーボール	②バスケットボール	③卓球	④ソフトテニス																				
⑤新体操	⑥文芸	⑦英会話	⑧美術																				
⑨合唱	⑩吹奏楽	⑪生物	⑫被服																				
⑬食物	⑭茶道	⑮フラダンス	⑯模擬授業(国 数 英)																				
⑰自由見学																							
<p>【持参物】・筆記用具、上履き ・体育部活動参加希望者は運動着、シューズ、(フラダンスは運動着のみ) ・ラケット、防具、楽器など部活動体験に参加する上で持参可能なもの</p>																							

参加希望する場合は下の申込書に記入し、担任へ提出してください。 **校内切日 7月7日(木)**
※申し込み切日が迫っているので、期間が短く申し訳ありません。

----- 折り -----
磐城第一高等学校オープンスクールに参加します

◆体験活動 上記記事の①~⑰の番号を書いてください。 番号 ()

◆保護者の参加 どちらかを○で囲んでください あり なし

3年 ___ 組 ___ 番 生徒氏名 _____ 保護者氏名 _____ 印

校内切日 7月7日(木)

お知らせ 奨学金関係の案内

次の奨学金関係のお知らせが届いております。詳細は進路担当までおたずねください。

福島県奨学資金予約採用募集（令和5年度高等学校・専修学校（高等課程）進学予定者対象）

募集期間 令和4年7月1日～9月30日

福島顕奨学生予約募集（令和5年度大学、短大、**高専**入学予定者対象）

募集期間 令和4年7月1日～9月30日

その他 一般財団法人山田新太郎D&I財団「STEM（理系）女子奨学資金」
公益信託カトリック・マリア会・セント・ジョセフ奨学育英基金奨学金

詳細は紙面の都合で紹介できませんが、それぞれ応募資格がありますのですべての方が対象となるわけではないことを申し添えます。

～生徒の皆さんに考えてもらいたいこと～

前号に引き続き、生徒の皆さんに考えてもらいたいことを掲載しました。是非参考にしてください。

参考文献 三笠書房 王様文庫「タフに生きる言葉」吉岡秀人 著

* 質は量から生まれる。やり続けることで精度が上がっていく。

最初から何事も上手にできるなら誰も苦労はしません。これをやろうと決めたらとにかくやり続けること、選び続けることで自分にとって本当に大切なものをつかめるようになり、精度が上がってきます。質は量から生み出されるのです。

では、もし自分に合わない、向いていないと悟ったらどうすればよいでしょうか。それは失敗ではありません。自分が向いていないとわかったことが進歩につながります。そして、また新しいことに挑戦すればいいだけです。

経営の神様と例えられる松下幸之助さんが言っている言葉を紹介します。

「失敗したところでやめるから失敗になる。成功するまで続けたらそれは成功になる。」

* 自分の能力の限界を決められるのは、自分だけ。

これからの長い人生、自分にはとうてい無理とあきらめる場面も当然出てきます。しかし、簡単に自分の能力の限界を認めて欲しくありません。

その理由の1つは「負け癖がつくから」です。これから将来何か難しいことに挑戦するたびに、途中で投げ出す人間になり、「自分はこの程度だろう」と見切りをつけてしまうからです。それではあまりにも悲しくありませんか。

自分自身とは一生付き合っていく行かなければなりません。だからこそ、せめて自分だけは自分のことを信じよう、信じてやろうと思ってほしいのです。

「自分には無理だ」ではなく「自分にはできる」

* 4000mの景色を見た人にしか4000mの景色のよさはわからない。

日々の生活習慣が人生の質を決めます。その質を上げるか下げるかは本人の自由です。

地上4000mの景色を見た人だけが4000mの景色の美しさを知ります。1000mで「美しい」と思って満足する人はそれでかまいません。あとはもう何mの景色を見たいかという話だけです。でもどうせ見るならより美しい景色を見て欲しいと進路担当は思います。

私たちを取りまく多くのことは意志さえあれば登り続けることができます。それなら登り続けなないと損ではないでしょうか。

女優の天海祐希さんは次のように述べています。

「がんばって前に進むと、そこでしか見られない景色とそこでしか出会えない人に出会える。」

一度しかない人生です。このままでいいと停滞する人生ではなく、絶えずステップアップを図り、自分が知らない新しい景色を自分の力で見て欲しいです。

「近所の山に登ればいっや」ではなく「エベレストに登りたい」